

## 若手職員に聞きました！《第1回 平成30年度に採用された職員》

九州管区行政評価局では、採用1年目の職員は実務研修として様々な部署に配属されます。

「若手職員に聞きました！」第1回は、1年間の実務研修を終えたばかりの職員に聞きました。

Q1 採用1年目で主に担当した業務は何ですか？

Q2 採用1年目と2年目の違いは？

Q3 これまでの業務で、達成感を感じたこと・嬉しかったことを教えてください。

Q4 九州管区行政評価局の魅力について教えてください。

A1 評価監視業務(10か月配属)では、調査項目を1つ担当し、相談業務(2か月配属)では受け付けた事案について、国の行政機関にあっせんを行いました。

課室に関係なく周りの上司に相談できたので、思い悩みすぎることなく業務を行うことができました。

A2 採用1年目は、OJTの一環で様々な部署に配属されるため、上司の出張に同行するなどして様々な経験ができました。

2年目は、総務課に配属され、公務員宿舎に係る手続などの業務に、1年間を通して主担当として従事しています。主担当になると責任が増えますが、任されているということがモチベーションになっています。

A3 1年目で調査項目を担当するとは思わなかったため、任せてもらえたときは嬉しかったです。

評価監視業務は、限られた時間内で必要な情報を聞き出すことなどの難しさがありますが、上司のサポートがあったので、1年目でも責任のある仕事ができただと思います。

A4 評価監視業務は、約4か月ごとに担当する調査のテーマが変わります。テーマは、新聞やネットで話題になっているものが多く、興味を惹かれるものばかりです。約4か月ごとにおもしろいテーマを担当し、新鮮な気持ちで仕事ができるのは、当局だけではないでしょうか。

A1 行政相談業務に従事していたときは、配属された2か月の間に様々な相談事案に対応しました。

行政相談対応はととても緊張しましたが、最初から一人で相談を受けるといったことはなく、上司が助言をしてくれるため、一つずつ学んでいくことができました。

A2 2年目は、責任ある業務が増え、一つの会場で多くの方が相談することができる一日合同相談所の運営などを行っています。まだまだ勉強不足で、分からないことも多くありますが、上司に相談しやすい環境なので、安心して業務を行うことができます。

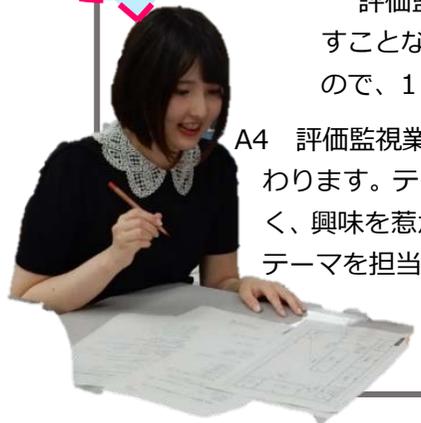
A3 行政相談に対応後、相談者の方から「ありがとうございました」と感謝されたときは、役に立てたと実感でき、やりがいを感じます。

A4 評価監視業務では国や九州における行政課題を把握・分析し、また、行政相談業務では国民の方に寄り添い、困りごとを解決することで、よりよい行政の実現を目指しています。

大きな視点と身近な視点の両方から社会に貢献できる点が、当局の一番の魅力だと思います。

また、日常の業務を通じて、様々な行政分野に接することができ、非常に勉強になる職場だと感じています。

現在、九州管区行政評価局 総務課会計係の配属です。



現在、長崎行政監視行政相談センターで勤務しています。

